

新春



館報 まつかわ

平成20年 元旦
松川町公民館報
第531号

「ねずみ」と「鏡もち」は編集部員が心を込めて折りました。
[指導 図書館清田先生]

学習がもつ意味について in 京都～

昨年11月25・26日の両日、編集部の研究で京都府立大学福祉社会学部の築山崇(つきやまたかし)先生の元を訪れた。きっかけは6月に松川町公民館にいられた事から。

健康を考える集会で永年にわたり町と交流を続けられている先生が取り組まれている社会教育の研究のテーマ「地域福祉活動において学習活動がも

つ意味について―福祉拠点公民館の役割を焦点に―」。この研究のため交流のある松川町の公民館にいられた事から取材をお願いし快くお引き受け下さったわけである。先生が松川町を訪れるようになったきっかけから現在の研究のお話まで秋の京都でうかがってきた。

松川町との 交流のきっかけ

平成6年2月、築山先生が松川町を訪れるきっかけとなったのは、ある社会教育のセミナーで目にした資料に松川町の健康学習が紹介されていたことから。当時の保健士の



京都府立大学

熊谷さんに連絡をとり来町され「八健会」「なすなの会」の皆さんと交流された。それ以来数年、学生を伴って健康を考える集会に参加され町内の皆さんと交流を深められた。

ここで、6年は松本市の公民館福祉活動についての研究や、先生の地元である京都での公民館福祉活動などの研究をされている。

先生は今、新・京都SKY大学(「S健やか・K快適・Y豊かな長寿社会を目指して」)をテーマに開かれる高齢者講座で講師をされている。その講義の中で、自分の身体におこる「問題」から世界を広げテーマ・世代・地域ごとの多様なグループを作って活動している「小さな町の大きな元気：健康学習に取り組む―長野県下伊那郡松川町」と紹介された。

地域福祉をとりまく 環境の変化の中で



築山 崇先生

先生が本格的に社会教育についての研究をされるようになったのは平成4年にこの大学に勤め、社会教育主事の資格取得のための教科などを担当されるようになったことがきっかけで以来16年研究を続けられている。続ける中で介護保険制度の導入、平成の大合併などがあり、近年は自治体と住民の関係が問われるようになり、社会教育や地域福祉を取り巻く環境が大きく変わってきたとのこと。

最近是个々の生活重視で、煩わしさのない都会的な生活がすぐ手に入る環境にあるが、一方でひとり暮らしの高齢者や子育てに悩み相談できない若い親も増えている。彼らを

支えるには、個々がバラバラになったままで行政のサービス・支援を提供しても、日常的な生活の支えにはならないのではないか。合併により自治体の規模が大きくなると職員が地域に向き、住民と接することが困難になるため、お互いの顔・名前がよく分かっている「小地域」の意義が大きくなり、その中で地域における住民の学びと交流の拠点となる公民館の役割も改めて問われている。

社会教育の活動の 拠点と広がり

公民館が社会教育の活動の拠点となるには、専門職としての公民館主事の役割は大きい。更に地域住民のリーダー的存在が必要となる。リーダーを育てるためには、活動の質を高める学習が重要であり、住民自らがその生活を意識的に見直し問題点を見極めて取り組んでいかなければならない。そして、共通の問題意識をもった住民によるグループを作り保健士・栄養士等の専門職の協力を得ながら更に学習していく。それが、担い手あるいはリーダーの成長に繋がるのではないか。

地域福祉活動において ～編集部取材

昔(50年以上前)は物資や人の移動も各々の地域内で限られており経済的にも文化的にも地域内で完結していたと言える。しかし、現代は人や物の移動も地域のみならず国を超

へと繋がっていく。世界的規模で取り組むべき課題も環境問題食糧問題などの世界規模で取り組むべき課題へ

社会教育の学習活動の広がりにおいては、まず地域のお茶飲み会(サロン)などの身近な集まりから、公民館などで開かれる各種学級講座へと繋がり、松川町においては「健康を考える集会」「福祉を考える集会」などの研究会へと発展し、更に専門的知識への探求となると「〇〇大学」と銘打ち、より大きな地域での集まりとなる。例えば身近な生活の中で感じて取り組めること(食事を作り過ぎない、余分な電気は消すなど)も環境問題食糧問題などの世界的規模で取り組むべき課題へと繋がっていく。



熱心に話してくださいます



先生のお部屋でうかがいました

① 学習活動を独自に追及していくうえで、公設公民館の課題としては

これからの松川町の課題

これからの松川町にむけての課題としては

えて行われるようになり(日本中どこへ行っても同じような町並み等)地域の文化的独自性が薄れ、均一化されてきているようだ。身近な地域生活の中にも、日本社会、国際社会の構造の変化を見ることが出来る。松川町の健康学習の意義については、30年に及ぶ健康学習は生涯学習の典型であり高齢化などの社会保障における現代的課題への対応の先取りといえる。全国的に介護保険が導入された当時すでに松川町は介護を受けなかったための「予防医療」に取り組んでいたのはすごい事だとも。

以上のようなお話を伺っている間に、先生自らお茶を入

お話を伺って

そのままなのだがちよつとイイかなと思える。定年退職して、さあ何をしようと思った時、こういったサークルが用意されていればシャイ?な面倒くさがりな中年男性も一歩踏み出せるのではないかと思う。

サークル名は「男の居場所」

難しい内容が一段落した時中年男性の福祉活動への参加の話になった。男性は肩書きとある程度のプロセスが用意されていないと新しい事へ挑戦する一歩が踏み出せないらしく先生も思わず苦笑い。

② 学習活動と福祉活動の統一の追及と福祉拠点としての公民館の再定義。
③ 分館(自治会公民館)のリフレッシュ元気が出る楽しい活動を住民自身の手で。以上3点にまとめられるが第2第3世代のリーダー育成も重要であるという。これも大きな問題になるう。

6月に来町されたおりに八健会の皆さんと旧交を温められ今回の健康を考える集会への参加も検討されているとのこと。
やさしい先生の笑顔にお会いできるのを楽しみにしながらお話の内容を心に刻みたいと思う。

感謝感激!
6月に来町されたおりに八健会の皆さんと旧交を温められ今回の健康を考える集会への参加も検討されているとのこと。



格調高し京都国立博物館



安井金比羅宮の縁切りのお札……怖い

部奈地区公民館

家庭教育学級

12月23日(日)部奈地区公民館の家庭教育学級が、部奈地区に伝わる「わら細工」の伝承を目的として行われた。

時間になると部奈文化伝承センターの獅子舞文化伝承ホールには、ワラの束を持つた親子連れや地区の皆さんが三々五々集まり始めた。

部奈地区は水稻の栽培をしている農家が多く、コンパインでの刈り取りが進んだ今でもワラは各家庭に保存されているそうだ。

今回講師にお願いしたのは老人クラブの北林さんと唐澤さんのお二人。教えていたのは「オヤス」と「しめ縄



みんな上手にできるなん

前に作った事のある人は、唐澤さんの指導でだんだん思いついてきて手際良く編み始め、10本以上を抱えている子供達もいた。
老人クラブの皆さんは諏訪神社に奉納する「しめ縄」を協力しながら短時間で作られ



こうやって持つんだに、いいかな?

たが、3mもあろうかという縄がアツというまに出来てしまったのは驚きだった。

また、この日は松川町公民館の松村館長よりの手作りダコが子供達に配られ早速揚げていた姿が見られた。

この日作られたオヤスが新しい年を迎える各家庭に飾られる事で文化の伝承になるの

名子地区公民館

家庭教育学習会

12月16日、朝雪が舞う冬らしい日に家庭学習会が開かれました。

昨年までは講話でしたが、今回からは名子子ども育成会との共催で「おやす作り」「お餅つき」が行われ、子どもを



松村館長の手作り風

ではないだろうか。

中心にお年寄りまで160名程集まりました。

始めにお正月についての話をおやす作りの講師の羽生さんより伺いましたが、昔から続いている事で深い意味は解らないようでした。現在では廃れてしまつて簡素になつて

いるようです。
そして、おやす作りが始まつて、講師の説明を聞きワラを編んでいきました。子供達も大人のアドバイスを受けながら、個性的な物から売り物になるような物まで次々と完成させていきました。器用な子は2個3個と作っており、後半には締め縄作りも教えていた

を感じました。

次に外へ出て、餅つきが行われました。白と杵が3つ用意され、蒸しあがった餅米を子供達が交代でついでいきました。1人でつけない子供も、大人の協力もあり楽しい経験だったと思います。

役員の方達が、きな粉とおしるこを用意してくれ、つきたてのお餅をいただきました。つきたてのお餅は弾力があり



美味しく、子供達は持参したお椀と箸で何個も食べていました。途中お菓子も貰い、子供達には楽しい時間だったと思います。

今回初めての試みで今後課題があるかと思いますが、子供達の参加も多くて、寒空の中でしたが暖かい学習会で



講師の小林良正さん

平成19年度 まつかわ大学 第Ⅲ講座 『人生 華を咲かせる生き方』

—より若々しく、美しく生きる心構え—

12月9日(日)午後1時30分 町民体育館トレーニングルーム

今回の講師は浄土宗良正庵庵主の小林良正さん。

先天性の心臓弁膜症で18歳の時死ぬつもりで臨んだ心臓手術により生還した後「付録の人生だけど結婚し孫もでき坊主にもなれました」と笑って話された良正さんに楽しく笑って生きてゆくためのコツをお話しいただきました。

まず基本は「挨拶」、「返事」、「後片付け」でそれには美しく良いと書いて「養う」事の「休養」「栄養」「修養」が必要だそうです。

休養は良く寝る事。1日8時間、目を閉じて寝るのが最良で寝られなかった時間は人生最後にベッドの上でまとめて使うのだそう…。なんかコワイです。

栄養は自分の体に合っている地元で取れた食材を使って食事を。

修養は「六根」目・耳・鼻・

口・体・心を使います。

まず目で物を言つてはイケナイ！フワーツと柔らかく見るのが一番。

聞く耳をもたないというのはダメ！話に耳を傾けて聞いてくれる人がいると良い。

鼻を利かせて良い匂い悪い匂いを嗅ぎ分けよう。



思わず笑ってしまう皆さん

口は慎んで良し。宮中上る女性が付けた口紅は苦いもので余計な事を言わないようにとの戒め。

体は惜しまず心を込めて皆のために働こう。

日常的に言われている事だけれどなかなか出来ないなどと思わず心掛けていきたいものです。

お話の内容は文字にすると難しそうですが、ご自分の周りの人達(特にご主人)を例えにされるのでアチコチで自分の事を思い描きながら苦笑したり大笑いをしたり時間内ほとんど笑っていました。まさに楽しく笑ったひとときでした。最後に心にのこった良正さんの言葉を。

—咲いた花見て喜ぶならば咲かせた根元の恩を知れ—

松川町の文化財

(345) 埋蔵文化財 (243)

松川町の中世城館跡

大島城(9) —大島城を守備した日向大和守—

教育委員会 酒井幸則

大島城が武田信玄に撰取され、一大要塞に修築された当時、この城の城主は大島氏ではなく、信玄直属の武将である日向大和守(是吉または宗英)が城代として入っていました。日向氏の出自は佐久の日向で、甲斐の逸見筋村山(長坂インター近く)を本貫とする武田譜代の武将で、大和守は信濃攻めの最前線に立っていました。

下伊那攻略戦にあたっては、信玄の命を奉じて佐久の松原諏訪大明神社に戦勝祈願の願文を捧げています。信濃府中(現松本一帯)占領後は、深志城(松本城の前身)に入り、中信一帯の守備を固め、伊那高遠城を守る秋山信友と共に、下伊那の攻略に向け、中伊那地方への工作を進めました。下伊那占領後は、その功が認められ、大島城の守備を命ぜられました。

大島城に入った当時、大和守は相当な年齢であったようです。大島城を守って十数年、



日向大和守の墓 (旧高根町 光村寺)

冬に熱いスポーツ、運動しよう

平成19年度飯伊三バスケ ボール松川優勝大会

去る12月2日、飯伊ミニバスケットボール松川優勝大会が、男子は中学校体育館、女子は北小体育館を会場にして開催されました。この大会は飯田・下伊那各地域から男女合わせて26チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。松川町からは男女とも低学年高学年の部に各1チームずつ計4チームが参加しました。

第15回松川町ダブルス バドミントン大会

12月9日松川町町民体育館において第15回松川町ダブルスバドミントン大会が開かれ

ました。男子30チーム、女子24チームの合計54チーム総勢108人による熱戦が展開されました。

男子Bブロック	男子Aブロック	女子Cブロック	女子Bブロック	女子Aブロック
準優勝 森 日出登・斉藤 和男 (桑園B・C)	優勝 北原 和人・小池 久男 (上片桐B・C)	3位 三石さやか・小池 敬子 (上片桐B・C)	優勝 松下由美子・佐々木ゆかり (松川B・C)	優勝 小本曾美希・蒲 奈美穂 (上片桐B・C)
優勝 松上 勇・林 元彦 (福与B・C)	準優勝 佐々木章吾・佐々木謙吾 (松川B・C)	準優勝 山路 和美・中島 悦子 (ジョイフルB・C)	3位 米山 圭子・中川オルガ (ジョイフルB・C)	3位 松下 睦規・大場はるか (ジュニアB・D・C)
	優勝 竹村 丞・鹿養 紘司 (タケムラ)	優勝 下沢 智子・小池 美子 (上片桐B・C)	準優勝 森下 淳子・大島真由美 (ジョイフルB・C)	優勝 森下 淳子・大島真由美 (ジョイフルB・C)

男子Cブロック

優勝 米山 正彦・小野川幸洋 (ジョイフルB・C)
準優勝 宮下 俊希・市岡 匡睦 (ジュニアB・D・C)
3位 片桐 洋雄・岩本 亮 (IBC)

平成19年度MTV杯松川町 総合9人制バレーボール大会

平成19年度MTV杯松川町総合9人制バレーボール大会が12月16日に開かれました。この大会は毎年開催されており、年齢を問わず代表者が松川町在住又は町内の企業に勤めていれば参加できます。今年には8チームが参加しました。

男女混合ブロック

優勝 しおりLOVE
準優勝 ばぼちゃん'S
優勝 下條クラブ
準優勝 アタック28

平成19年度松川町女性ソフトバレーボールリーグ

12月17日松川町女性ソフトバレーボールリーグが町内の体育館(町体・名子原・福与)を会場として行われました。

りんごブロック

優勝 宗源原シールズ
2位 FCM



3位 よつちやーず	会場 町民体育館体力相談室
なしブロック	内容 リトミック&ゲーム
優勝 ニコちゃん女王	(第2回)
2位 ママドルズ	期日 2月19日(火)
3位 サンフラワーズ	会場 中央公民館大会議室
ももブロック	内容 調理実習
優勝 チームつつまし	
2位 ミケネコ	
3位 セブン スカイ	

本館行事

〈街頭あいさつ運動〉
日時 2月4日(月)
午前7時〜8時
場所 町内各所・学校周辺

高齢者講座 第4回

日時 2月22日(金)午後1時〜
内容 楽しい芸能
出演 劇団「おとめ座」
老人大学26期生

会場 中央公民館 大会議室

その他 参加は無料
〈まつかわ大学 第4回講座〉
演題 「歴史に学ぶまちづくり」
講師 作家 童門 冬二氏
日時 2月23日(土)午後1時30分
会場 町民体育館

〈家族で遊ぼう〉

(第1回)
期日 2月5日(火)
会場 トレーニングルーム

地区館行事

〈上新井地区公民館 節分祭〉
期日 2月3日(日)

〈卓球大会〉

期日 2月17日(日)

〈冬島地区公民館 節分祭〉

期日 2月3日(日)

〈バドミントン大会〉

期日 2月10日(日)

〈上片桐地区公民館 上片桐地区公民館 冬季スポーツ大会(綱引き)〉

期日 2月3日(日)

〈地区公民館運営研究会〉
期日 2月17日(日)

〈映画「Beauty」上映会〉

日時 2月16日(土)18時30分
会場 町民体育館
入場料 大人 1,200円
小中学生 600円
(前売り券1,000円)
(前売券500円)



今月号の表紙を飾ったえとの折紙「ねずみ」。図書館の清田先生に指導いただきながら編集部員が折った力作です。ちょっと太めで丸っこい形が愛らしい「ねずみ」。実り多く、よりよい1年になるようお願いを込めて折りました。

ねずみ同様にお供えの鏡もち、だいだいも伝統の折り方ででき、小さい子どもからお年寄りまで、誰もが楽しめる折紙です。図書館にはいくつものねずみが展示しており、分かりやすい折り方も表示してあります。職員に尋ねれば丁寧に教えてくれますよ。

こぼれ詩

エルフ、大好きだよ
東小2年

「ずうっと、ずっと、大栗知華
すぎだよ」の本は、かんど
うしました。

一番心にとこっているところ
は、「ぼく」がさい後の
のさい後までエルフをまも
りつづけていたことです。
「ぼく」は赤ちゃんのこと
からエルフとなかよしで、
一しよにあそんだりねたり
食べたりして、いい
な、と思いました。

それから、エルフが夜の
間にいなくなると、となり
の子が子犬をくれると言っ
て「ぼく」はいらぬ、と
言いました。「ぼく」はエ
ルフと会えないけれど心が
通じていて、子犬をいらぬ
い、と言ったと思ひなみだ
が出そうになりました。

エルフのこと
東小2年

本塩竜哉

ぼくがお話を読んで思っ
たことは、お話に出てくる
「ぼく」がエルフのことが
本当にすぎだったことがべ
んきょうでわかりました。
エルフは「ぼく」にかつ
てもらって楽しかったんじや
ないかと思ひます。「ぼく」
とエルフは言は通じない
けれど心は通じているのか
な、と思ひました。さい後
に、エルフがしんじやつて
かなしく思ひました。

俳句

西澤清子

初晴れや天に射とおす槍ヶ岳

雪の朝赴任の地よりメールくる

如月に無音の夜明け時を撞く

金雀枝えじだに過ぎ行く風が寄り道す

剪定の枝とばされて道ふさぐ

短歌

矢澤芳子

冬休みの厨明るし年越の支度
手伝う子らの揃いて

天竜を下る舟追う鶯の群れ
澄みし啼き声湯舟にて聞く

休み明けて祖父の乗りいし自動車
もらいて孫は笑顔で発てり

小春日の畑に小豆の莢をとる
赤きつぶら実こぼれ散らばる

留守番を頼むと犬に声をかく
今日も行くのといいたげな顔

12月20日、高森町公民館において標記会議が開催され各市町村それぞれの19年度活動を報告したあと、質疑応答を行い活動の趣旨や問題点を上げていきました。

やはり現

在は公民館の活動の原点回帰の機

運が高まっているものの、行政改革などにより主事の負担も大きくなっており、前年度事業踏襲の状況が多く見られました。松川町の状況の中では、「まつかわ大学」の運営

すぽっと

平成19年度北部地区公運協館長主事会に参加して

公民館主事 畑中英樹

酒司としての才能が十分に

他にも各市町村で取り組んでいる駅伝大会やマラソン大会

についてコースや参加者数なども、報告の中で各町村の比較ができました。

半日という短い時間でした

あることが判明したことも成果の一つでした。





町の古民具 ③⑧ 提灯箱(ちょうちんばこ)

提灯をたたんで入れた箱。すぐに取り出せるよう鴨居などに掛けておいた。



今年も宮沢守さん、鈴木武さん、水野昭義さんを講師にお招きして、12月15日中央公民館体験講座「正月飾り教室」を開きました。

おやす作り

酒井 南

おやす作りがありました。この11年間生きている中で2回目のおやす作りです。友達がいっしょでした。最初のときははなれなかつたけど、どんだんなれてきました。

どんどんなれてきて、5個くらい作りました。その中の2個は友だちの家族へ、ほかの3本はうちにおいてあります。おやすを作って、お金がたまらぬくらいでも作りたいです。

おやす作りの感想

田中 愛実

今日はおやす作りでした。私はおやすを作りました。おやす

作りはやったことがあるので作り方くらいは...と思っただけど作

り方をわすれていました。やってみるとかんたんだったけど作りおわった後すぐにさわつたらこわれてしまいました。おやすの作り方を教えてくれた人はやっぱりじょうぶでさわつてもこわれませんでした。私もいつかはさわつてもすぐこわれないおやすを作りたいです。

上大島公民館わら細工とリース作りともちつき大会

林 正茂

12月16日の日曜日、上大島公民館では、クリスマスリース作りとわら細工という事業を行いました。

毎年行っている事業で、今年も好評につき、クリスマス

の一週間前に行いました。一ヶ月前から通知を出し、

多くの区民のみなさんに来て頂こうと思い、大分前から準備してきました。

その甲斐あってか、子どもを中心に50人近くの方が集まって下さいました。

ここ最近の公民館事業ではなかなか人を集めることが出来ず、苦勞をしています。これだけの人数が集まってくれたのは、有難い事だと感じました。中には毎年楽しみにして来てくれた子もいました。私は、だいたい毎年、わら細工



心を込めて作ります

を担当しています。今年も同様にわら細工を教える係でした。わら細工では「おやす」という物を作り、お正月に飾れるというものです。

みなさん熱心にわら細工に取り組まれていました。

わら細工の終った人は、リース作りへ、リースの終った人はわら細工へと両方作り終えた人から、外へ出て、育成会の方がやってくれたもちつき大会に参加し、お昼はみんなですいたおもちを食べ、大満足でした。

午後1時頃には事業は終了しましたが、みなさんとても充実した時間を過ごして頂けたと思います。これからも、この様な事業は大切にしていきたいと思



新年の抱負。

「はやね はやおき」
：例年、元旦は二年参りの延長で朝まで活動中です。今年もくあけおめ☆おやすみく「だいえつと」

：運動のなかでは、りばうんどーが得意です。「まいにち、につきをかく」

：①正月三が日：びつしりと文字が記されています。表記は日本語です。

②桜の便りが聞かれる頃：空を埋め尽くしているのは古代メソポタミアの楔形文字でしょうか？

③今年も残すところ半分です。日記帳はその役割を見失ってしまつたようです。ポボサ満載です。

④これは宇宙人との交信の記録でしょうか。最後は身の危険を感じた筆者により焼却された模様。

余談ですが、うちの母親が10年日記を完成させました。11年目の今年、日記帳の備考欄で「タート」とのこと。「蛙の子は蛙」という言葉がありますが、我が家ではむしろ退化！子は単細胞。今年こそは、せめて魚類レベルまでは進化したいですね。猛省。

三島真理子

公民館報
「まっかわ」
第 531 号
平成20年1月15日

発行者 松川町公民館
責任者 松村直彦
編集人 公民館編集部
Tel 36-2622
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp
飯田市上郷黒田121
印刷所 龍共印刷(株)